

令和 7 年度
シラバス

青翔開智中学校

第 1 学年

もくじ

現代文	2
古典	3
社会	4
数学	5
理科	6
音楽	7
美術	8
保健体育（男女合同）	9
保健体育（男女別）	10
技術	11
家庭	12
英語	13
道德	14
STEAM	15
探究Ⅰ	16

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	国語	現代文	2	必修	ホームルーム

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 ①社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ②社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ③言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト・小テスト	ペーパーテスト・論述・レポート・探究スキルラーニングで評価する成果物など	探究スキルラーニングで評価する成果物等・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用・提出物への取り組みなど
教科書・教材	光村図書「国語1」、育伸社「ワーク中1国語(光村図書「国語1」準拠)」、桐原書店「セレクト漢字検定 5級～2級」・エデュケーションalネットワーク「【新版】標準 新演習 中1」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	・ガイドンス	1		
	・「言葉を調べる」辞書・辞典の使い方(図書館利用)	2		
	・「ダイコンは大きな根？」 【読むこと ア】段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。	6	ペーパーテスト①	
	・探究スキルラーニング「ビブリオバトル」(図書館利用) 【話すこと・聞くことウ】聞き手の反応を見ながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように話し方を工夫する。	10	探究スキルラーニングの成果物等	
	・「読書を楽しむ」／読書感想文(図書館利用) 【話すこと・聞くことウ】聞き手の反応を見ながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように話し方を工夫する。 【書くこと イ】段落の役割や文章の構成を意識して、本から得た自分の考えを書く。	7	読書感想文	
	・「ちよつと立ち止まって」 【読むこと ア】文章全体の構成に着目し、文章の要旨を捉える。	7	ペーパーテスト②	
	・「比喻で広がる言葉の世界」「星の花が降る頃に」 【知識・技能 言葉・漢字(1)オ】比喻などの表現の技法を理解し使うことができる。	5	ペーパーテスト③	
	・「「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ」 【知識・技能(2)情報 ア】筆者の意見と根拠との関係を理解する。	8	ペーパーテスト④	
2学期	・探究スキルラーニング「根拠を示して説明しよう」(図書館利用) 【知識・技能(2)情報 イ】引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使う。	10	探究スキルラーニングの成果物等	
3学期	・「少年の日の思い出」 【思考・判断・表現C読む(1)エ】文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。	8	ペーパーテスト⑤	
	・「1年間の学びを振り返ろう」 【書くこと ア】目的や意図に応じて題材を決め、集めた情報を整理して伝えたいことを明確にする。	6	成果物	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	国語	古典	2	必修	ホームルーム

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 ①社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ②社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ③言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・成果物で評価する成果物など	単元で実施する成果物、ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	光村図書「国語1」、育伸社「ワーク中1国語(光村図書「国語1」準拠)」、教育出版「中学書写」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	・ガイドンス	1		
	・文法1 言葉の単位	3	ペーパーテスト①	
	・文法2 文の組み立て	4		
	【知識・技能(1)言葉 オ】比喻・反復・倒置・体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。			
	・「はじまりの風」(物語)	7		
	【読むこと イ】場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉える。			
	・「野原はうたう」(詩)	7	成果物	
	【知識・技能(1)言葉 オ】比喻・反復・倒置・体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。			
	・楷書で書こう	4	成果物	
	【知識及び技能(3) エ(ア)】字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。			
2学期	・文法3 単語の分類	4	ペーパーテスト②	
	・文法4 用言の活用	4		
	・「星の花が降るころに」	9		
	【読むこと ウ】場面と場面、場面と人物などの描写を結びつけて、作品を読み深める。			
	・竹取物語(蓬莱の玉の枝)	9	ペーパーテスト③	
	【知識及び技能(3) ア】古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。			
	【知識及び技能(3) イ】古典には様々な種類の作品があることを知ること。			
	・「楷書と仮名を調和させて書こう」「行書」	4	成果物	
	【知識及び技能(3) エ(ア)】字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。			
3学期	・今に生きる言葉(図書館利用)	7	ペーパーテスト④	
	【知識及び技能(3) ア】古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。			
	【知識及び技能(3) イ】古典には様々な種類の作品があることを知ること。			
	・「少年の日の思い出」(物語)	7		
	【知識・技能(1)言葉 ウ】文脈上の語句の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。			
	【読むこと イ】場面の展開や表現の効果、語り手に着目して、作品を読み深める。			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	社会	社会	3	必修	ホームルーム

科目の目標 【地理的分野】 地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域の特色や地域の課題をとらえさせる。また、地域相互の関連性・相違点は諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。また、地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。 【歴史的分野】 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	知識・技能 【地理的分野】 日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域の特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付ける。 【歴史的分野】 歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身に付け、社会生活の中で活用することができる。	思考・判断・表現 【地理的分野】 地理的課題を見いだし、地域の特色を環境条件や生活と関連付け多面・多角的に考察し、公正に判断し、過程や結果を適切に表現する。 【歴史的分野】 歴史的事象から課題を見いだし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。	主体的に学習に取り組む態度 【地理的分野】 地理的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。 【歴史的分野】 歴史的事象に関する関心を高め、意欲的に追求し、社会を構成する一員としての自覚と責任を考えることができる。
評価の観点			
評価の方法 テスト・課題に関する成果物など	テスト・論述・レポート・発表・グループ活動・課題に関する成果物など	課題への取り組み・クラスルームへの投稿・学習内容の振り返りなど	
教科書・教材 東京書籍「新しい社会 地理」、東京書籍「新しい社会 歴史」帝国書院「中学校社会科地図」東京書籍「中学必修テキスト 社会 地理」、東京書籍「中学必修テキスト 社会 歴史」			

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	【地理的分野】 ○世界と日本の姿 ・世界の姿	7	テスト／成果物／学習の振り返り
	探究スキルラーニング「世界一周旅行を計画しよう！」	8	成果物など
	○世界のさまざまな地域(前半)		テスト／成果物／学習の振り返り
	・世界各地の人々の生活と環境	6	
	・アジア州	6	
	・ヨーロッパ州	6	
	・アフリカ州	6	
2学期	○世界のさまざまな地域(後半)		テスト／成果物／学習の振り返り
	・北アメリカ州	6	
	・南アメリカ州	6	
	・オセアニア州	6	
	【歴史的分野】 ○歴史の流れをとらえよう	4	テスト／成果物／学習の振り返り
	○古代までの日本		
	・世界の古代文明と宗教のおこり	6	テスト／成果物／学習の振り返り
	・日本列島の誕生と大陸との交流	4	
3学期	・古代国家の歩みと東アジア世界	6	
	探究スキルラーニング「歴史トラベルツアー ～旅行企画書を作成しよう～」	7	成果物など
	○中世の日本		
	・武士の台頭と鎌倉幕府	7	テスト／成果物／学習の振り返り
	・東アジア世界との関わりと社会の変動	8	テスト／成果物／学習の振り返り
	・織田信長・豊臣秀吉による統一事業～桃山文化	6	テスト／成果物／学習の振り返り

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	数学	数学	4	必修	ホームルーム

科目の目標	(1) 各単元についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の性質や文字を用いた数量関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・各単元についての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の性質や文字を用いた数量関係や法則などを考察したりする力、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・探究スキルラーニング成果物	授業中の発言や取り組み・自己の振り返り・出席率
教科書・教材	数研出版「日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせるこれからの数学1」、人工知能型教材Qubena、旺文社「中学総合的研究 問題集」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス／正の数・負の数	16	
	文字と式	18	ペーパーテスト①
	方程式	18	ペーパーテスト②
			ペーパーテスト③
2学期	比例と反比例	20	
	平面図形	10	ペーパーテスト④
	空間図形	10	
			ペーパーテスト⑤
	資料の整理	10	
	探究スキルラーニング「とりPR」		成果物（ポスター）
3学期	式の計算	10	ペーパーテスト⑥
	連立方程式	8	
	一次関数	20	ペーパーテスト⑦
	探究スキルラーニング「世界の気候から」		ペーパーテスト⑧
			成果物（ポスター）

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	理科	理科	4	必修	ホームルーム

科目の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・自然の事物・現象から問題を見い出している。 ・見通しをもって観察、実験などを行えている。 ・得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりすると、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	プリント等の記述・授業の振り返り記入・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	啓林館「未来へひろがるサイエンス1」、新学社「理科の自主学習1年」(自主学習ノート、計算・作図トレーニング含む) 浜島出版「理科便覧」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス(科学的な視点)	4	
	1章 身の回りの生物の観察 探究スキルラーニング「雑草の観察」	4	
	2章 生物のなかま分け	4	レポート① 単元テスト① 授業の振り返り等
	1章 植物の特徴と分類	8	
	2章 動物の特徴と分類 探究スキルラーニング「生物の分類わけ」	16	成果物 授業の振り返り等
	1章 身近な大地	4	レポート②
	2章 ゆれる大地	4	単元テスト②
	探究スキルラーニング「地震」	8	レポート③
2学期	3章 火をふく大地	4	単元テスト③
	4章 かたる大地	8	
	1章 いろいろな物質とその性質	8	レポート④ 単元テスト④ 授業の振り返り等
	探究スキルラーニング「謎の粉X」	8	
	2章 いろいろな気体とその性質	8	
	3章 水溶液の性質	8	成果物 授業の振り返り等
	4章 物質のすがたとその変化	4	
	1章 光による現象	8	授業の振り返り等
	2章 音による現象	4	
	3学期	探究スキルラーニング「音の性質」	4
3章 力による現象		8	
中1内容の総点検		8	授業の振り返り等
中2内容への橋渡し		8	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	音楽	音楽	1	必修	ホームルーム

科目の目標	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト・ワークシート/音楽ノート等の記述・実技(歌唱・アルトリコーダー演奏・リズム制作)など	実技テスト・ワークシート/音楽ノート等の記述など	ワークシート/音楽ノート等の記述・ペア/グループワーク・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用・発表など
教科書・教材	教育芸術社「中学生の音楽1」、教育芸術社「中学生の器楽」、教育芸術社「鳥取県版 音楽ノート 鑑賞資料とワークシート1」、アルトリコーダー		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	イメージをもたらす音楽の秘密を探る“ジョーズのテーマ“	2	ワークシートの記述
	ヴィヴァルディ作曲「春 第1楽章」	2	ワークシート/音楽ノートの記述
	My Voice!	1	ワークシートの記述
	歌唱「浜辺の歌」	4	ワークシート/音楽ノートの記述・歌唱の実技・実技テスト
	ペーパーテスト①	1	ペーパーテスト
	Let's Create!	3	ワークシートの記述
2学期	シューベルト作曲「魔王」	2	ワークシート/音楽ノートの記述
	アルトリコーダー・ソロ	4	演奏の実技・実技テスト
	アルトリコーダー・2重奏	4	演奏の実技・ペア/グループワーク・実技テスト
	リズムアンサンブル リズムチャレンジ	2	創作の実技・ペア/グループワーク
	音楽の基礎知識	2	音楽ノートの記述
	ペーパーテスト②	1	ペーパーテスト
3学期	雅楽	1	ワークシート/音楽ノートの記述
	心の歌「赤とんぼ」	2	歌唱の実技・ワークシート/音楽ノートの記述
	ペーパーテスト③	1	ペーパーテスト
	合唱「君をのせて」	3	グループワーク・自己評価

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	美術	美術	1	必修	ホームルーム

科目の目標	① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 ② 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 ③ 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味い、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト 提出作品 ワークシート	ペーパーテスト グループ制作 作品の合評	スケッチブックへの記述・描画 授業中の発言 教師による行動観察
教科書・教材	光村図書出版「美術 1」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション	1	
	鉛筆デッサン	3	作品提出・取組み観察・ワークシート
	自画像	3	作品提出・取組み観察・ワークシート
	鑑賞	1	レポート
	イメージ画	3	作品提出・取組み観察・ワークシート
2学期	透視画	3	作品提出・取組み観察・ワークシート
	色について	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
	鑑賞	1	レポート
	レタリング	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
	ロゴマーク	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
	新商品(ドリンク)開発	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
	クリスマスカード	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
	啓発ポスター	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
3学期	冬休み	1	作品提出・取組み観察・ワークシート
	立体(椅子)	4	作品提出・取組み観察・ワークシート
	バラバラ漫画	4	作品提出・取組み観察・ワークシート

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価／相互評価等
教科書・教材	大修館書店「最新中学保健体育」、大修館書店「中学保健体育ノート」、あかつき教育図書株式会社「図解中学体育」		

9

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	保健体育	保健体育(男女別)	1	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	大修館書店「最新中学保健体育」、大修館書店「中学保健体育ノート」、あかつき教育図書株式会社「図解中学体育」		

年間学習計画					
学期	学習内容		時数	主な評価方法	
	男子	女子		男子	女子
1学期	【球技1】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム （パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解） 【保健】 ・体の発育・発達 ・健康の成り立ち、運動と健康、呼吸器・循環器の発育・発達、生殖にかかわる働き成熟	【球技2/体育理論】ゴール型「サッカー」 ・基本的技能の習得とゲーム （パス、トラップ、シュート、攻撃と守備の原則の理解） 【保健】 ・体の発育・発達 ・健康の成り立ち、運動と健康、呼吸器・循環器の発育・発達、生殖にかかわる働き成熟	9	・単元テスト① ・実技テスト ・授業態度	・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度
	【球技2/体育理論】ゴール型「サッカー」 ・基本的技能の習得とゲーム （パス、トラップ、シュート、攻撃と守備の原則の理解） 【保健】 ・休養・睡眠と健康、自己形成	【球技1】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム （パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解） 【保健】 ・体の発育・発達 ・健康の成り立ち、運動と健康、呼吸器・循環器の発育・発達、生殖にかかわる働き成熟	4 5	・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度	・単元テスト① ・実技テスト ・授業態度
2学期	【ダンス】 ・現代的なリズムのダンス 【保健】 ・心と体のかかわりとストレス、ストレスへの対処のしかた	【器械運動】 ・マット、跳び箱 【保健】 ・心と体のかかわりとストレス、ストレスへの対処のしかた	10	・発表会 ・授業態度	・実技テスト ・授業態度
	【器械運動】 ・マット、跳び箱	【ダンス】 ・現代的なリズムのダンス	7	・実技テスト ・授業態度	・発表会 ・授業態度

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	技術・家庭	技術	1	必修	ホームルーム
科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技（観察・実験・作図など）など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	カルテの記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書・教材	技術・家庭（技術分野）（開隆堂）かんたん木製品の設計と製作				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	1	カルテ・発表	
	生活や社会を支える材料と加工の技術	2	レポート	
	・身の回りの製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。		ワークシート	
	生活で役立つ製品をデザインする技術	2	カルテ	
	・等角図法および第三角法による正投影図法を身に付け、製図のルールを知る。		ワークシート	
	材料を利用するための技術	2		
	・木材の特徴と加工方法と身の回りの製品や社会の中にあるじょうぶにするための工夫を調べる。		ワークシート	
	課題の設定と設計	2		
	・身の回りの生活の中から収納に関わる問題を見いだし、設定した課題に基づき、製作物を構想・試作する。		デジタル作品	
	・課題を解決する製作品の設計図・工程表を具体化する。	2	ワークシート	
			ペーパーテスト	
	・プロトタイプの製作	2	デジタル作品	
2学期	製作のための技能（木材）		カルテ・グループ活動	
	・製作品の材料取りを行う。	2	カルテ・実技	
	・切断作業を行う。	3	カルテ・実技	
	・組立てにむけて必要な部品加工を行う。	3	カルテ・実技	
	・製作品の組立てを行う。	3	カルテ・実技	
	・制作品の仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正を行う。	2		
3学期	制作品のプレゼンテーションと評価			
	・完成した製作品について発表し、相互評価に基づいて製作品や解決過程の修正・改善を考える。	3	カルテ・グループ活動	
	これからの材料と加工の技術	3	プレゼンテーション	
	・よりよい生活を実現する材料と加工の技術の在り方について話し合い、自分の考えを発表する。	3	カルテ・発表	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	技術・家庭	家庭	1	必修	ホームルーム
科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	生活と技術について理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけているか。	生活や社会の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を構想し実践しようとしているか。実践した内容を「評価する」、改善に向けて「表現する」など課題を解決する力を身につけているか。		よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組む、ふりかえって「改善する」、生活を工夫し「創造する」など実践しようとしているか。	
評価の方法	ペーパーテスト・実技		ペーパーテスト・発表・グループ活動・作品製作		提出物・授業中の発言や取り組み
教科書・教材	「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂出版				

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	○家庭科ガイダンス	1	
	○衣生活		
	「目的に応じた衣服の選択」	2	
	衣服で伝えるメッセージ	2	提出物
	自分らしくコーディネート	2	
	つなげよう和服の文化	2	学習に取り組む態度
	上手な衣服の選択	2	
			ペーパーテスト①
	基礎縫い練習	2	
2学期			
	「日常着の手入れと保管」		
	衣服の汚れと手入れ	2	提出物
	衣服の繊維に応じた手入れ	2	
	衣服の洗濯	2	学習に取り組む態度
	衣服の収納・保管・補修	2	
	持続可能な衣生活をめざして	2	
	布を用いたモノの製作	5	ペーパーテスト②
3学期	○住生活		
	住まいのはたらき	2	提出物
	住まいの空間	2	
	安全な住まいで安心なくらし 家庭内事故への備え	2	学習に取り組む態度
	災害への備え		
	持続可能な住生活をめざして	1	ペーパーテスト③

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	道徳	道徳	1	必修	ホームルーム

科目の目標	○レジリエンス教育を通してメタ認知的な視点を身につけ、適切な自己受容・他者受容につなげ自己肯定感を育む。 ○ダイバーシティ教育として、様々な人権問題について深く学び道徳的価値観を広げ、それに基づいた生き方についての自覚を深化させる。 ○様々な活動の発表や講演、交流事業を通して多面的、多角的な道徳的理解を基礎とした実践力を育成する。 これらの軸を通じて、今後の社会においてよりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
評価の観点	多面的・多角的な考察: 物事を様々な角度から捉え、多様な考え方を理解しようとしているか。 自己との関わりにおける深化: 道徳的価値を自分自身の問題として捉え、深く考えているか。 判断の根拠や心情: 道徳的な判断をした際に、その理由や気持ちを考えようとしているか。 他者理解・共感: 他の人の気持ちや立場を理解しようと努め、共感的に関わろうとしているか。 主体的な学び: 授業に意欲的に取り組み、学んだことを生活に活かそうとしているか。 振り返り: 学習を通して自分の成長を振り返り、今後の課題を見つけようとしているか。 対話的な学び: 他の生徒との意見交換を通して、自分の考えを深めたり、新たな視点に気づいたりしているか。
評価の方法	数値による評価は実施しない。 授業で使用したワークシートや振り返りにおける生徒の記述、授業中のようなすなどから個々の道徳性の成長を見取る。 評価は年度末に記述で通知する。
教科書・教材	東書「新訂新しい道徳1」

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成 調査フェイズ	1	
	PBISを基にした目標の作成 目標設定	1	
	コミュニケーション・望ましいICTの使い方	1	
	コンピテンシーについて～SEIKAIコンピログの作成～	3	
	地域理解(校外学習)	2	
	レジリエンス①レジリエンスとは？	1	
	対話の仕方・相互理解	3	
	PBISを基にした学期の振り返り 次学期の目標設定	1	
2学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成 調査フェイズ	1	
	レジリエンス ②ネガティブ感情への対処法 ③自分の捉え方に気づく	2	
	カウンセリングのロールプレイ「傾聴」	3	
	身体・聴覚・視覚等障がいについて	2	
	勤労感謝の日について	2	
	地域理解(校外学習)	4	
	PBISを基にした学期の振り返り 次学期の目標設定	1	
3学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成 調査フェイズ	1	
	レジリエンス④ネガティブ感情	1	
	いのちの授業	4	
	礼儀・公共心		
	PBISを基にした学期・年間の振り返り / 道徳の振り返り	1	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	次世代	STEAM	1	必修	学年

科目の目標	予測不可能な時代（VUCA時代）において、直面する課題を創造的に解決するために必要な思考力やテクノロジー活用の素養を身に付けることを目的とし、次の3点を目標に設定する。 1:課題解決のための過程を、システム思考の型を活用して設定をすることができるようになる。 2:プログラミングを活用して画面上で意図した動きを実現することができるようになる。 3:複数の方法から適切な表現の手段を選択して、自身の考えを表現できるようになる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	プログラミングを使ってデバイスの制御をすることができるか。 ソフトウェアやアプリケーションの使用方法を理解し、成果物作成のために活用することができたか。	思考ツールを使って課題解決の過程を設定することができたか。 多様な表現ツールを使って共感を得る成果物を作成できたか。	成果物作成にあたり創意工夫を行い、積極的に活動に取り組むことができたか。
評価の方法	プログラミングコード等の成果物 作品等の成果物	各種ワークで作成されたワークシート 各種ワークで作成された作品	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	適宜資料等を配布する		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	○ガイダンス(授業の目的・目標の共有, 年間授業計画の説明等)	1	
	○生成AIの活用について	1	
	○ロジカルシンキング:「論理的思考を身につける」	2	
	○センサーを活用したデータ収集ワーク (micro:bit使用)	3	
	○ipadを用いた自己表現活動	6	
	・イラストデザイン、プログラミングの基本を理解する。		
	・自分×鳥取をテーマにscrach制作		
2学期	○3Dモデリング	8	作品の制作
	・3Dscan 3Dモデル制作を通して、表現の質を高めるワーク		
	・メタバース空間を利用した表現		
	○プログラミング	7	作品の制作
	・webページ制作を通して、HTML/CSS/JSについて理解を深める。		
3学期	○デジタル表現	7	作品の制作
	・クリエイティブツールを活用したデジタルコンテンツの作成 (affinity designer affinity photo)		
	・1年間の作品をまとめた動画作り。		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学1年	総合的な学習の時間	探究 I	2	必修	学年

科目の目標	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 多様なアイデアをもとによりよいアイデアへと発展させる活動を通して、アイデアを出す楽しさと他者の共感を得る喜びを実感できるようにする。 (2) 地域の実態や実生活での経験に即したアイデア発想のために、文献や新聞などを活用して調査し、情報をまとめられるようになる。 (3) チーム内で役割を分担しながら探究活動を進める中で、自身の役割を精一杯遂行し、時には仲間を助け、よりよい成果物ができあがるようになる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	多様なアイデアをもとによりよいアイデアへと発展させる活動を通して、アイデアを出す楽しさと他者の共感を得る喜びを実感できるようになったか。	地域の実態や実生活での経験に即したアイデア発想のために、文献や新聞などを活用して調査し、情報をまとめられるようになったか。	チーム内で役割を分担しながら探究活動を進める中で、自身の役割を精一杯遂行し、時には仲間を助け、よりよい成果物を作ることができたか。
評価の方法	探究活動の成果物(アイデアの試作品や発表会の内容)と成果物作成までの過程(チームでの取り組み状況等)から総合的に評価する。		
教科書・教材	玉川大学出版部「改訂版 学びの技」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	図書館活用オリエンテーション	2		
	探究ガイダンス	2		
	思考ツール(マトリクス)	2		
	アイデアキャンプ	終日		
	思考ツール(マインドマップ)	2		
	「探究テーマ」に関するマインドマップ作成実践	2		
	「探究テーマ」に関する要素抽出のトレーニング	2		
	「探究テーマ」に関するアイデア(第1弾)の創出	2		
	中間発表会①(校内)	2		
	「探究テーマ」に関する調査活動	5		
	「探究テーマ」のアイデアの修正	5		
2学期	修正したアイデアの共有会	2		
	アイデアの可視化・プロトタイプ(試作品)作成	6		
	相手にわかりやすく伝える工夫をしよう	2		
	中間発表資料作成	2		
	中間発表会②(校内)	2		
	提案アイデアやプロトタイプの修正	12		
	中間発表資料作成	2		
	中間発表会③(校内)	2		
3学期	発表資料作成	4		
	発表準備・練習	6		
	青開学会(探究活動成果発表会)	終日		
	青開学会振り返り	2		
	1年間の振り返り	2		